

クリスマス・新年のご案内

皆さまクリスマスおめでとうございます！

新しい教会堂でのクリスマスも4年目。今年も共にイエス様のご降誕を喜びましょう♪

12月17日(日) 10時30分~

—クリスマス主日礼拝・祝会—

礼拝の後に食事を持ち寄って祝会を行います！

(食事代 500円) プレゼント交換あり！

12月24日(日) 10時30分~

—主日礼拝—

クリスマス・イヴの朝も礼拝を行います。

12月24日(日) 19時~

—燭火礼拝(キャンドルサービス)—

イエスキリストのご降誕を祝い、ろうそくに火を

灯して礼拝を行います。ぜひ教会へお越しください！

1月1日(月) 11時~

—元旦礼拝—

新年を教会で迎えましょう！



グッドデザイン2015に選ばれた教会堂でクリスマスと新年を！

クリスマスエッセイ「失敗でつながる—僕らは失敗ブラザーズ—」
牧師 奥田知志

失敗はしたくない。そう、できるだけしたくない。でも失敗はつきもので、「つきもの」である限り付き合うしかない。

先日、森松先生の運転する車に乗っていた。あいにくETC(カードを挿入すると高速道路の入り口がその場所で料金を払わなくても、スルーと通り抜けられるという優れもの)のついていない車だった。でも、カードを提示すればETCの割引は受けられる。だから、その日カードだけ準備していた。しかし人間。健忘するのだ。うっかりETCレーンに入ってしまった。「ビービービー」と警告音がなり、ゲートが閉じた。係の人が飛んできた。「カードを確認して入らなかつたの。後ろの車がかえてますよ。困るなあ」と係の人は言うのだった。森松先生は、当然。「すみません」と何度も仰る。でも、この係の人は、何度も何度も、「カードは確認してから入ってください。迷惑だから」と言う。そんなことは当然わかってる。開き直って言うのではない。これは失敗なのだ。「そんなことどうでもいい」などとは言わない。「うるさい、バカ」とも当然言えない。でも、なんだかさびしいなあ。このオヤジ。

失敗は成功の母という。でも言いたい。失敗が成功につながらなくても、失敗には意味がある。そんなに鬼の首を取ったように仰るあなたは、じゃあああ失敗しないのかね。するでしょう。「失敗しましたね。いやねえ、実はあつしもやるんですよ。ちよくちよくね。『あああ、やつちやつた』と思うんですけどね、後の祭りですよ。そんな時ほんとしんどいですよね。でも、次はそんな風にはならない。そう思ってもう一度やってみる。そんな風に思うんですよ。どうぞ、お気をつけて行ってください」なんて言われたら、「よっしゃ！これからもETCやってみるかああああ」と思うわけだ。でも、あのおじさんは結構きつかったなあ。

失敗したとき失敗だけを見る人は「赦せない」と思う。でも、その失敗の中に自分を見る人は「ああ、僕もそうだった」と納得する。「しようがない」とあきらめる。あるいは「この失敗を経験したこの人の将来が見たい」と思うのだ。これは大きな違いだ。

このように他者の失敗に自分を見出すかどうか勝負なのだ。それができない人は、相手を対象化し、あるいは相手を敵—悪とみなす。

キリスト教信仰がすぐれていることは「義人はいない」と告白することにある。相手と自分の間に「罪」という共通項を見出す。だから、人の失敗を笑えない。糾弾もできない。イエスは仰る。「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の丸太に気づかないのか」(マタイ7章3節)。おが屑も丸太も同質のもの。しかも、自分の中の問題も方が大きかったりする。だから、失敗を笑ってはいけない。責めてもいけない。それは、しようがないこと。失敗した時は励ますしかない。僕は、その時、そうしてもらいたいと思う。

繰り返すが、失敗は成功の母。別に成功しなくてもいい。でも、失敗が私とあなたを結び付けるとするならば、失敗は新しい未来を拓く。失敗が、おんなじ人間だと証明してくれる。僕らは失敗ブラザーズ。

教会バザーへのご協力、ありがとうございました！

今年も11月23日に恒例の教会バザーを盛況のうちに行うことが出来ました。みなさまのあたたかいご支援と献品をいただきありがとうございました。ご来場くださったみなさまにもここに謹んでお礼申し上げます。今後とも地域に開かれた教会として活動していきたいと思っております。

なお皆様にご協力いただいた収益の中から、次の団体等に寄付をお届けします。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1、共生地域創造財団（東日本大震災・熊本震災・九州豪雨被災地支援） | 2、NPO 法人抱樸（困窮者支援） |
| 3、ペシャワール会（アフガニスタンにおける医療活動支援） | 4、PHD 協会（アジアとの交流支援） |
| 5、久山療育園パプテストコロニー・太陽パン（「障害」者支援） | 6、キリスト教海外医療団（JOCS） |
| 7、佐々木さんを支援する会（アフリカ ルワンダにおける和解のプロジェクト） | |
| 8、ミンダナオ子ども図書館（フィリピン・ミンダナオ島紛争被害児支援） | |
| 9、東八幡キリスト教会の働きのために（新教会堂建築費用として） | |

来年も教会バザーを開催する予定です。どうか、この働きをおぼえて、お支え下さいますように。来年に向けて献品の品々を少しずつご準備くだされば大変助かります。来秋、ご案内チラシが参りましたらどうかよろしくお願ひします。



2017年の活動ダイジェスト

① 5月7日 松居友さんとミンダナオの子どもたち

フィリピン・ミンダナオ島で NGO「ミンダナオ子ども図書館」を設立し、紛争に苦しむ子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、就学支援をしたり、生活全般のお世話をしている児童文学者の松居友さんが、ミンダナオの子どもたちと一緒に来て、お話しやダンスと歌の披露をしてくださいました。



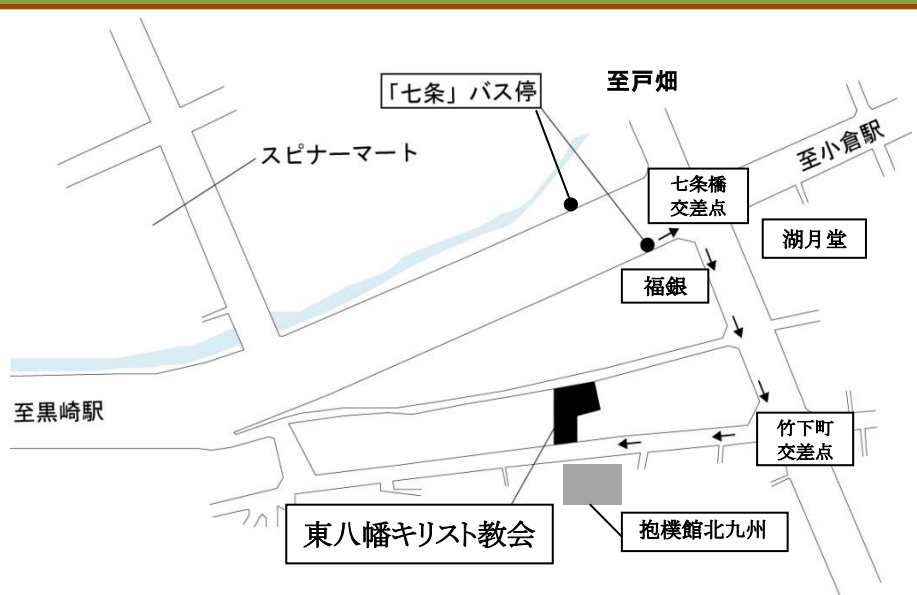
② 6月10日 荒生田塾 中西和久氏講演会

福岡出身の俳優である中西和久氏を講師としてお迎えして行った荒生田塾講演会。「芸能とは何か」というテーマでお話しくださり、三味線を弾きながら「山椒太夫」を演じてくださいました。



③ 11月4日 沢知恵ピアノ弾き語りコンサート オールリクエスト「神さま、いのちをありがとう！」

3年連続3回目になる今年は、オールリクエスト！ 讃美歌「久しく待ちにし」、「アメイジング・グレイス」、「あなたも見ていたのか」や、「男はつらいよ」、「風に立つライオン」、「イマジン」などのカバー曲、そして代表曲「こころ」、「胸の泉に」、「ありのままの私を愛して」などのオリジナル曲とさまざまなのに、どの歌もいのちを感じさせるものでした。今年初めて、本コンサートの前に「こどものためのミニコンサート」も開催。赤ん坊から大人まで40分ほどの演奏を一緒に楽しみました。



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40

電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ: [東八幡キリスト教会](http://www.higashiyahata.ch)

Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com

牧師: 奥田 知志 石橋 誠一

協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生 齊藤弘司

定例集会

- ・主日礼拝(一般の部)
毎週日曜午前10時30分より
- ・子ども礼拝(小学生以下の部)
毎週日曜日午前9時30分
- ・少年少女会(中高生会)
毎週日曜日礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会
夜の部 毎週水曜日午後7時30分
昼の部 毎月第3水曜日午後1時

牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話 093-651-6669